

事業評価価値書

補助事業名	医療に関する事業:妊産婦及び乳幼児健康診査事業(基金)								
補助事業者名	木更津市長								
実施場所	医療機関								
補助事業の成果の目標	<p><b>【妊産婦歯科健康診査】</b>                  妊娠中は妊娠関連の歯肉炎になりやすく、それを放置すると歯周病が重症化して早産や低体重児出産のリスクが2倍になるという研究報告もあり、妊娠中に専門家によるチェックを受け、口腔内が良好に保たれていることが重要です。また、産後は子育ての多忙さから口腔管理がおろそかになりがちですが、母親の口腔内細菌の感染が子どものむし歯の原因とも言われているので、産後の母親の口腔内が良好に保たれることも重要です。しかしながら現在は公的助成がないため、妊産婦の時期に歯科健康診査を受診している妊産婦が少ないことから、健診費用を助成し、受診しやすい体制をつくり、受診者数の増加を目標とします。</p> <p><b>【2歳児歯科健康診査】</b>                  法令で定められている1歳6か月児健康診査と3歳児健康診査の中間時期の2歳6か月児を対象に、乳歯の積極的なむし歯予防を目的とした歯科健康診査(フッ素塗布を含む)を実施し、健診費用を助成することで、受診しやすい体制をつくり、受診者数の増加を目標とします。</p> <p><b>【新生児聴覚検査】</b>                  先天性難聴児は、1000人に1人から2人程度と比較的高頻度で出生しています。新生児聴覚スクリーニング検査によって難聴児を早期発見し、早期療育を開始することで、言語発達等の影響を最小限に抑え、生活の質の向上につながります。現在、新生児聴覚検査は自費診療となっているため、検査を受けない保護者が一定数存在しており、検査の100%実施が達成できていません。検査費用の助成を行うことで、出生したすべての児が受検することを目標とします。</p> <p><b>【妊婦・乳児健康診査】</b>                  母体や胎児・乳児の健康維持や異常の早期発見のため、妊婦・乳児健康診査の受診を促し、健康管理の向上に努めることを目的とします。</p>								
補助事業の内容	妊産婦や乳幼児を対象とした健康診査費用の助成								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:令和元年度から令和8年度 基金の処分:令和2年度から令和10年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	1	20,000,000				20,000,000	0	20,000,000	0
2	90,988,000				8,000	90,996,000	5,589,880	105,406,120	5,589,880
3	19,143,000				42,162	19,185,162	51,142,932	73,448,350	51,142,932

<p>補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況</p>	<p>[補助事業の成果及び評価]</p> <p><b>【妊産婦歯科健康診査】</b> 妊産婦歯科健康診査において、令和2年度の受診率は27.7%でしたが、令和3年度は33.3%となり受診率の向上が見られました。この受診率の向上は、本健診の認知度が上がってきた成果と考えられます。 また、令和3年度が初年度となった産婦歯科健康診査においては7.6%の受診率でした。この健診は、母子健康手帳交付時にクーポン券を配布することで健診の周知を図っています。しかし、令和3年度の対象者のほとんどは令和2年度の母子健康手帳交付であったため、クーポン券の交付も受けてなかったことから受診率が伸び悩んだものと考えます。今後はクーポン券の交付を受けた産婦にシフトしていくことから、今後の受診率向上に期待したい。</p> <p><b>【2歳児歯科健康診査】</b> 令和2年度の受診率は40.7%でしたが、令和3年度は67.0%と受診率の大幅な向上が見られました。令和2年度と令和3年度とは周知方法(個人通知)の変更はありませんでしたが、対象者に調査したアンケートにおいて「(自身の子どもより先に)通知がきていた友達にこの健診があることを聞いた」など口コミでも広まっているものと考えられます。また、無料であることやフッ素塗布ができることが良かった、本健診の対象期間が子どもの歯科医院デビューの必要性を感じる時期と合致していたという回答も多くあり、市民のニーズにあった健診であることから、今後も継続実施していきたい。</p> <p><b>【新生児聴覚検査】</b> 新生児聴覚検査の費用助成をした者は885人。受診率は88.9%。令和3年度より県下統一で新生児聴覚スクリーニング検査が開始されたため、受診者数は大幅に増加しました。要再検査となった児9名については、再検査の受診を確認する等フォローアップをすることができました。</p> <p><b>【妊婦・乳児健康診査】</b> 妊婦健康診査の受診券利用件数は11894件でした。妊婦健診の望ましい回数の指導については、妊娠届出時に全員に指導をおこなっています。 乳児健康診査受診券利用件数は、1504件。受診券利用率は62.9%と、令和2年度と比べて、ほぼ横ばいでした。昨年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による医療機関への受診を控える保護者がいたことによる影響も推測されます。</p>
	<p>[地域住民への周知の実施状況]</p> <p><b>【妊産婦歯科健康診査】</b> 母子健康手帳交付時に交付する妊産婦歯科健康診査受診票および産婦歯科健康診査クーポン券、市ホームページにおいて周知しました。</p> <p><b>【2歳児歯科健康診査】</b> 2歳6か月になる月に発送する2歳児歯科健康診査受診票および市ホームページにおいて周知しました。</p> <p><b>【新生児聴覚検査】</b> 母子手帳発行時に本事業の説明の徹底をはかり、周知しました。また、市ホームページにおいて広く周知しました。</p> <p><b>【妊婦・乳児健康診査】</b> 母子手帳発行時に本事業の説明の徹底をはかり、周知しました。また、市ホームページにおいて広く周知しました。</p>
<p>事業の改善措置及び今後の対応</p>	<p>—</p>
<p>事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無</p>	<p>無</p>